

水 砂川クリーンプロジェクト と緑のふるさとを

3月15日、小川小学校の4年生36人が、「八代海北部沿岸都市地域連携創造会議」との連携で、地域住民に砂川流域の環境を良くするための学習成果発表と提言を「風の館・塩屋」で行いました。

子どもたちは、昨年9月から今年3月までの半年間にわたり、総合的な学習の中で豊野町砂川源流付近から河口までの水質や生息動物を調査。その調査結果とテナガエビの放流や清掃・浄化活動などの取り組みを報告しました。



調査結果を発表する子どもたち

緑 海東小の児童が植樹 いっぱい豊かな自然環境に

2月20日に小川町海東地区の農村コミュニティ施設「ふれあいセンター」で、海東小の児童18人と関係者が植樹しました。宇城地域みどり推進協議会が行う平成18年度「花木友の会」造成事業の一環。子どもたちは地元造園業者の協力の下、ハナモモ、シダレウメ、ヒゴサザンカなど7種類の樹木を植えました。



「早く大きくなれ！」と願い土をかぶせる児童

苗木を1m間隔に植える親子



水 県の補助事業を活用して植樹 の生まれる森づくり

2月17日、18日に松橋町萩尾地区と小川町海東地区で行われ、17日はNPO法人Ecoシティ研究会・どんぐりの木（若城浩史代表）の呼び掛けに市内外から親子連れなど約30人が参加。小川町の農村コミュニティ施設ふれあいセンターで森と川、海の関係などを学習した後クヌギの苗木約50本を植樹しました。

植樹の参加者を募集中です!! (4月末まで)
 〇 NPO法人Ecoシティ研究会・どんぐりの木
 代表 若城浩史 ☎090-3410-8382

土 県立大と市が協定締結 蔵白壁の建築物などを調査



調印後、固い握手を交わす蓑茂理事長と阿曾田市長

3月14日に、熊本県立大学と宇城市が文化財保護や環境共生、地域づくりなどさまざまな分野で連携協力する包括協定を締結しました。

調印式には、蓑茂寿太郎理事長、米澤和彦学長、阿曾田清市長が出席。平成19年度から不知火町松合地区「伝統的建造物群保存地区」選定や三角町小田良古墳周辺の活用などの協働調査に取り掛かります。

西 小川町健康づくり駅伝大会 海東・南海東・大野チームが圧勝V!

3月4日、稲川グラウンドを発着点（全16区間、29km）に開催され、12チームが健脚を競いました。西海東・南海東・大野チームは、序盤こそリードを許したものの、5区でトップに躍り出るとそのまま首位を独走。2位に6分以上の差をつけ見事、優勝しました。

- 上位3チームは次のとおりです。
- 1位 西海東・南海東・大野チーム
 - 2位 南部田・北部田・耕地チーム
 - 3位 河江・三ツ丸・本村チーム



実力伯仲! 1区スタート

走者一斉にスタート、激闘の開始!



13 不知火デコポン駅伝大会 kmを8人でつなぐ

3月18日、不知火中学校を発着点（8区間、13km）に開催され、27チーム300人が参加しました。今大会は、序盤から初出場の合志技研Aチームがトップを独走。最後まで追撃を許さずゴールし優勝しました。どの選手も全力を尽くして走り、沿道からの声援に力強い走りであっていました。

大会終了後、豪華賞品が当たるお楽しみ抽選会が行われ、参加賞のデコポンも配られ、参加者は楽しい一日過ごしました。